

プロ野球の本拠地で初採用 野球専用人工芝「MS Craft Baseball Turf」について

積水樹脂株式会社がミズノ株式会社（大阪本社：大阪市住之江区 代表取締役社長：水野 明人）と共同開発した野球専用人工芝「MS Craft Baseball Turf」（エムエスクラフト ベースボールターフ）が埼玉西武ライオンズの本拠地・西武プリンスドームに2016シーズンから採用されます。

「MS Craft Baseball Turf」は現在プロ野球の行われている球場で主流となっているロングパイルの人工芝を改良し、より天然芝に近い感覚でプレーできる野球専用の人工芝で、日本プロ野球チームの本拠地では初の採用となります。この人工芝の特徴は、芝葉を捲縮（けんしゆく）させていることで、形状の経年変化が少なく、復元力にも優れており、導入時の状態を長期間維持できるなどメンテナンスの面でも優れています。また、この構造によりプレーヤーの足元の横ブレを軽減できることでプレーの安定につながり、守備走塁時のプレーヤーの負担軽減のために人工芝内に散布されている充填材（ゴムチップ）の飛散を従来よりも抑えることができるため、充填材が目に入るといった事故防止にもつながります。さらに景観面からも光の照り返しを低減できることで、観戦がし易くなります。



「MS Craft Baseball Turf」（大原運動公園野球場）

■ 「MS Craft Baseball Turf」の8つの特長

「MS Craft Baseball Turf」の最大の特徴である人工芝の芝葉を捲縮することで、従来品に比べ以下の点が改良された特長となっています。

耐 久 性	金属スパイクに対する人工芝パイルの耐久性が向上。 パイル引張強度減衰率が1/3に減少。
長 期 安 定 性	芝葉の倒れ、へたりが少ないため長期間安定した芝葉の状態を維持。
形 状 復 元 性	イベント時や降雪等の载荷重による芝葉の形状や人工芝性能（衝撃吸収性、厚みの変化など）の低下を抑制。

衝撃吸収性	特殊なパイル構造により、足への突き上げを15%軽減。
プレー安定性	プレー時の人工芝変形量を低減。 プレーヤーの足元の横ブレを軽減。
充填材安定性	充填材であるゴムチップの飛散を抑制 ※詳細、下記参照
バウンド性	経年によるへたり・倒れが少ないため、また芝目が無いことからボールのバウンド・転がり方が安定し、イレギュラーバウンドが軽減。
景観性	光の照り返しと乱反射を抑えることでより観戦がしやすい環境を提供。



「MS Craft Baseball Turf」

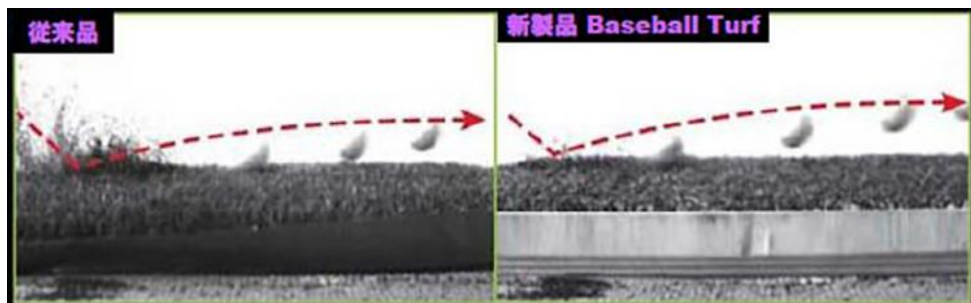


従来の人工芝

■ボールバウンド時の充填材の飛散の抑制について

従来品の場合、起毛性の高い形状となっているため、ボールがバウンドした際に、人工芝の間から充填材のゴムチップが飛び散り易く、目に入ってしまうこともあり、プレーの妨げとなっていました。

ピッチングマシンにて170km/hのボールを人工芝に打撃させ、充填材の飛散を確認した様子が下記の写真図です。



ボールバウンド時の充填材飛散確認試験の比較

■野球専用人工芝「MS Craft Baseball Turf」の導入実績

- ・新潟県南魚沼市大原運動公園野球場「ベーマスタジアム」(2014年3月)
- ・三重県伊勢市倉田山野球場 (2014年3月)
- ・亜細亜大学野球場 (2014年3月)
- ・JX等々力グラウンド (2015年3月)

【本件に関するお問合せ先】

積水樹脂株式会社 コーポレート部 TEL 06-6365-3204 FAX 06-6365-7181